

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	10	課題区分	C	令和6年(2024年)3月25日	
横断的な課題	3穏やかに暮らし続けられる地域づくり						
地域重点政策	3穏やかに暮らし続けられる地域づくり					上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	農地整備課	
事業名	棚田の学校子育て支援事業				電話	0268-25-7130	
				E-mail	uedachi-nochi@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	・発達障がいや不登校の児童生徒について、屋外での活動体験を通じ社会とふれあう機会を創出し、児童の心のケアを実施する。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業資産である棚田は、日本の原風景とも呼ばれる日本固有の景観を有しており、多くの来訪者に心の癒しを与えている。</li> <li>・管内の稲倉の棚田(上田市)では、都市住民交流として棚田オーナー制による農作業体験のほか、どろんこ遊びや豊富な生態系を活用したビオトープ&amp;ネイチャーゲームなど、子供向けのイベントも多数開催されている。</li> <li>・上田管内不登校児童生徒の児童生徒総数に占める割合については上田市で公表されており、R2年度データで小学生1.52(県1.31、全国1.00)、中学生5.32(県4.35、全国4.01)と非常に高い傾向にあるとともに、その割合は小中学生とも年々増加傾向にある。また、発達障がい児童生徒数は不明だが、発達障がいと診断されたり、疑われる子どもが増加しており、発達障がいに悩む保護者や子ども達が大幅に増加しているのが現状である。このことから発達障がいの児童生徒及び不登校児童生徒に対する子育て支援は、管内の重要な課題である。</li> </ul>					
概要	内容 (変更後の内容)	<p>子どもたちの社会性のスキルアップを図ることを目的とした棚田の活用方法を検討するため、上田管内の発達障がいや不登校の児童生徒が、心の癒しを感じられる棚田における農作業体験を通じて棚田保全活動を行う人々との交流を行う実証実験を行い、体験者側、受入れ側双方の課題を抽出する。</p> <p>①農作業体験イベントの開催(各10名程度を想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え、草取り、稲刈りの農作業体験及び収穫祭の実施(5月、7月、9月、11月)</li> <li>・農作業体験と併せて、生態系観察やデイキャンプなどのイベントの実施</li> </ul> <p>②子育て支援勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害等により不登校児童の対応の受入れ側の勉強会の実施(5月)</li> </ul> <p>③体験者側、受入れ側の課題整理(12~1月)</p>					
	事業期間	令和6年(2024年)5月			～	令和7年(2025年)1月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	農作業体験イベントの開催	田植え、田の草とり、稲刈り体験、収穫祭	500,000	委託料 500,000			
	子育て支援勉強会の開催	多動性障害やADHDなど基礎知識等の勉強会	0				
	実施体制の整備	課題整理	0				
	合計		500,000				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	農作業体験イベントへの延べ参加者数		40名		<input type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成		